

市長とのおしゃべり会 会議録

日 時 令和7年8月6日（水）19時～20時

場 所 藤井達吉現代美術館 多目的室B

出席者	人数	8人
	碧南市	小池市長、危機管理課長

テーマ 防災対策（自助・共助）について

要旨

災害時の市の被害予測や、自助・共助・公助の役割や連携の大切さについて市長から資料による説明をした後、意見交換を行った。

主な意見は以下の通り

- ・助けが必要なときに言える雰囲気を作れると良い。
→近所の人にとにかく声をかけるようにしている。次第に頼られるようになった。
- ・勉強したことは周りに伝えることが大切。
- ・町内会未加入には様々な事情があると思うが、被災時には未加入世帯も避難することを考えると、避難所を運営する自主防災の負担が大きい。町内会加入、未加入関わらず、まとめられる方法があると良い。未加入者の意見が重要。
- ・避難所は町内会が運営するものではなく、誰でも避難できる場所。そのため、運営もみんなでするかたちが望ましい。
- ・知識はあってもいざという時に動けない人が出てこないか不安。
- ・ファーストミッションボックスがあるから完璧と思っている人は多い。
- ・自分では用意できない部分を公助として担ってもらいたい。
- ・中越地震で支援に行った時、障がいを持つ子が、避難直後しか避難所で受け入れられなかった。今後被災時に同じことが起こりうるため、対応できると良い。
- ・普段から仕事などでドローンを使用する人から情報を得られると良いのではないか。
- ・いつ来るか分からないものに対しても訓練を継続していくことが重要。
- ・防災意識の底上げをしたい。町内会未加入者、外国の人も情報を得られる手段、一緒に行動できる何かが確保できると良い。
- ・ファーストミッションボックス使用経験者が地域に100人を超え、雰囲気も良くなってきた。他の地域にも広がり全体の雰囲気が良くなっていくと良い。

（市長総括）

- ・町内会の加入未加入や、所属団体に関係なく、幅広く声をかけて関わっていくことが大切で、それが継続性に繋がっていく。
- ・公助に期待しすぎない中でどんなことができるか考えてもらいたい。